

感動・友情・そして未来へ◎中学生海外派遣報告

平成20年9月26日(金)～10月4日(土)

▼指導課 ☎23局3679

プリンストン・ギブソン派遣団

■団長(教育委員会)

花井 隆

●東部中3年

植田 睦美

●赤羽根中3年

大羽 伊織

一面黄色の大トウモロコシ畑が広がる由緒ある一軒家でのホームステイ。大平原の雄大さとそこに住む人々の温かさ。深い感動が思い出さず。心から生かしていきたいと思えます。

アメリカは、地域の人と人とのつながりがとても魅力的な温かい国でした。海外派遣で学んだことを、自分の教室はなく、毎時間先生が待つ教室へ移動し、放課は5分、昼放課もなく、教科書は厚くまるで百科事典、驚きの連続だった9日間でした。

今回の海外派遣で、日本とアメリカとの文化の違いを、身をもって体験することができました。これからの人生に、この体験を生かしていきたいです。

■引率(東部中学校長)

太田 禮一

●東部中3年

寺田 峻佑

●赤羽根中3年

杉原 輝美

全員が元気に出発し、多くの貴重な体験を得ることができました。言葉の壁を越え、心と心が通じ合えるうれしさや感動は、いつまでも私たちの財産として残ることでしょう。

アメリカの教室はなく、毎時間先生が待つ教室へ移動し、放課は5分、昼放課もなく、教科書は厚くまるで百科事典、驚きの連続だった9日間でした。

一緒に泣いたり、笑ったりすることができた7泊9日間でした。片言の英語を理解しようとしてくれた皆さんの温かさが、とてもうれしかったです。

●東部中3年

村本 朱

●野田中3年

河合さくら

●泉中3年

河嶋 有幸

アメリカは自由でおおらかな方ばかりでした。文化の違いに戸惑うことはあっても、交流し合い、多くのことを得ることができました。

アメリカの人々は、初めて会った私たちを快く受け入れてくださいました。思うように英語が伝わらなくても気持ちを通じていると感じました。

言葉が通じなくても、一生懸命伝えようとすれば気持ちは通じるものだなと思いました。心が通じ合ったときのうれしさを知ることができました。

●東部中3年

菰田 淳

●野田中3年

山田 裕貴

●泉中3年

太田 勇氣

学年・性別・人種などの壁はなく、気軽に話すことができました。言葉でなくても気持ちは伝えられるということを経験できました。

海外派遣を通して、言葉が通じなくても分かり合うことができるなど、多くの事を学ぶことができ、海外に行つてよかつたと思います。

プリンストンの人たちは、とても親切でした。僕にも「理解しようとする気持ち」が必要だと感じました。大切なことを多く学びました。



デトロイトタイガースの球場にて



ハロウィンのかぼちゃたち